

佐賀県出身の美術家



古賀忠雄 ～佐賀県彫刻の先駆者～

古賀忠雄（1903-1979）は佐賀市出身の彫刻家で、県内彫刻の先駆者とされます。東京美術学校（現在の東京藝術大学）で学び、1929年に《仏心》で帝展に入選、1939年《岬の男》は特選を受け、さらに帝国芸術院賞も受賞しました。佐賀県立博物館の南側、佐賀城公園内には「古賀忠雄 彫刻の森」として約26点の作品が屋外展示され、誰でも間近で彫刻を見ることができます。形や素材をじっくり観察する大切さを教えてくれる彫刻家です。